

目 次

はじめに

第 1 章 流通情報システムと標準化

第 1 節 流通の基礎	2
(1) 流通の定義	2
(2) 流通活動－商流、物流、情報流	3
(3) 商流と取引の形態	4
(4) 小売物流センターの形態	5
第 2 節 流通情報システム	7
(1) 流通情報システムとは	7
(2) 代表的な流通情報システム	7
(3) 流通システム標準	7
(4) データベース・サービス	9

第 2 章 流通システム標準の活用

第 1 節 店舗情報システム	12
1. POS システム	12
2. 発注システム	16
3. 棚割システム	18
4. 公共料金等代理収納システム	20
5. 店舗における GS1 データバーの活用	22
第 2 節 物流情報システム	24
1. 発注・入出荷検品システム	24
2. 検品レスシステム	26
3. 物流資産の管理	28
4. 預り在庫センターの適正在庫管理	30
第 3 節 EDI システム	32
1. 業務の効率化	32
2. 経営の見える化	35
第 4 節 安全・安心のためのシステム	36
1. 牛肉のトレーサビリティ	36
2. 食品の原材料・資材管理	38
3. 医療の安全・安心	40
4. 製品安全情報の提供	42

第3章 識別コード

第1節 GS1 識別コード	46
1. GS1 識別コードとは	46
2. GS1 事業者コード	48
3. 商品識別コード (GTIN)	50
4. 企業・事業所識別コード (GLN)	57
5. その他の GS1 識別コード	60
6. さまざまな情報を識別するコード (AI)	63
第2節 その他の識別コード	66
1. 商品識別コード	66
2. 企業・事業所識別コード	72

第4章 データキャリア

第1節 バーコードシンボル、二次元シンボル	78
1. JAN シンボル	78
2. ITF シンボル	80
3. GS1-128 シンボル	83
4. GS1 データバー	87
5. GS1 データバー合成シンボル	90
6. 二次元シンボル	92
7. GS1 データマトリックス	94
8. GS1 QR コード	96
第2節 RFID (電子タグ)	97
1. 電子タグとは	97
2. 電子タグの分類	98
3. 電子タグに利用可能な周波数帯	99
4. 電子タグに関する標準化	100
5. 電子タグに用いるコード	101
6. 電子タグの動向	103

第5章 情報の伝達

第1節 企業間の電子データ交換 (EDI)	106
1. EDI とは	106
2. 流通 EDI の歩み	106
3. 流通ビジネスメッセージ標準 (流通 BMS)	108
4. グローバル EDI 標準	113
5. EDI 以前の取引情報標準化 — 統一伝票	117

第2節 サプライチェーン可視化の標準	120
1. EPCIS	120
2. EPCIS の利用イメージ	123

第6章 データベース・サービス

第1節 商品情報データベース	130
1. JICFS/IFDB	130
2. 国際的な商品マスターデータ同期化ネットワーク (GDSN)	137
第2節 POS 情報データベース (RDS)	141
1. RDS とは	141
2. 経緯	141
3. RDS の利用分野	143
第3節 GS1 登録事業者情報検索サービス (GEPiR)	144
1. GEPiR とは	144
2. GEPiR の利用方法	144

第7章 流通システムの国際標準化機関 (GS1)

第1節 GS1 の組織	148
1. GS1 の概要	148
2. GS1 の設立経緯とこれまでの歩み	148
3. GS1 の運営体制	149
4. GS1 の会合	151
5. GS1 プリフィックスと加盟国・地域	152
第2節 GS1 標準と標準化活動	155
1. GS1 標準の概要	155
2. GS1 標準開発プロセス	155
3. 主な標準開発グループ	156

第8章 研究会・広報活動

第1節 研究会・協議会活動	160
1. GS1 Japan パートナー会員制度	160
2. GS1 ヘルスケアジャパン協議会	163
3. 流通システム標準普及推進協議会 (流通 BMS 協議会)	165
4. 製・配・販連携協議会	167
5. 情報志向型卸売業研究会 (卸研)	169
6. 酒類・加工食品企業間情報システム研究会 (F 研)	171

第2節 広報・普及活動	173
1. 入門講座の開催	173
2. 機関誌・広報紙発行	175

巻末資料

1. GS1 アプリケーション識別子 (AI) 一覧	182
2. 本書に登場する主な英文字略語	190
3. 関連資料案内	194